



奥山 慎次

2 限 目

企業は、目標を達成すべく用意されたものであり、その箱には多くの自然人が構成員として存在しています。それらの構成員である社員を束ねて管理し、目的を達成することが経営者並びに幹部の仕事です。しかし、目標の達成できない会社の多くが抱えている問題や課題は、いろいろあると思いますが、もし一つだけに絞って解決策を考えるとすれば、それは「朝礼改善」です。

組織で目標を達成するためには個人の力も必要ですが、それを束ねて組織全体の力として活用することが重要です。そして、それを行う業務をマネジメントと称しています。

私は、マネジメント成功の鍵は、品質でなく回数だと教えています。

右図は、年間におけるアクション(マネジメント回数:例えるなら営業会議・幹部会議・ミーティングなど様々な関わり方)の回数を表したのですが、皆さんの企業では、タイミングをどのような関わり方に設定されているのでしょうか？

私は、小さい頃より母親から、「テレビは近くで見てもダメ」という注意を何千回も受けたと思います。お蔭で、テレビを近くで見ると具合が悪くなるほど遠くで見るよう癖がついています。

その注意の方法に少なくとも品質があったとは思えません。あったのは、「母親としての諦められない使命感」ではなかったのでしょうか。

マネジメントも仕事なのです。注意する側は「二度と言わせるな」「何回言ったらわかるのか」の発言を連呼するばかりです。

最初から、この注意を1000回言ってやろうと思えば、注意する側に何の葛藤も生じません。重要なことは、1000回言うことなのです。これが出来る機会(チャンス)は朝礼なのです。

朝礼の重要性が理解できたところで、朝礼に対する考え方を変えていただきたい。

その要点は4つです。

- ①**雰囲気作り**: 今日一日の出発は和やかがいいですよ
- ②**スピード作り**: 機敏な行動にこそ良い結果がでます
- ③**昨日の状況を今日へ繋ぐ**: 昨日までに起きたことを全員で共有することが全体最適につながります
- ④**悪しきことのリセット**: 持っているエネルギーを未来に注ぐことが重要です。過去に引きずられないようにリセットしていきましょう

これを行うのがマネジメント、そしてこれを行う人がマネージャーです。マネージャーの仕事は、朝の10分で完結する覚悟で臨んで欲しいのです。

1年を節目で考える

【単位】	1年	6ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	1週	1日
【チャンス】	1回	2回	4回	12回	52回	365回

【区分】	1年	上半期	第1四半期	1月	1週	1日
		下半期	第2四半期	2月	2週	2日
			第3四半期	3月	3週	3日
			第4四半期	4月	4週	4日
				5月	5週	5日
				6月	6週	6日
				7月	7週	7日
				8月	8週	8日
				9月	9週	9日
				10月	10週	10日
				11月	11週	11日
				12月	12週	12日
					↑	↑
					52週	365日

朝礼とは今日一日の雰囲気を決定する重要な時間です

誰が雰囲気を決めるのか

朝礼とは今日一日のスピードを決定する重要な時間です

誰がスピードを決めるのか

朝礼とは昨日までの状況を全員が共有する重要な時間です

どのように共有させるのか

朝礼とは昨日までの状態をリセットできる重要な時間です

どのようにリセットするのか

だから幹部として「朝礼に参加しない」「朝礼で発言しない」なんてありえないのです。
「朝礼で何をどう伝えるか! 幹部にとってこれほど重要な仕事はないのです」

奥山 慎次 氏【中小企業診断士 FP技能士 建築施工管理技士 土木施工管理技士】

1984年大学卒業後、会計事務所勤務、経営コンサルティングに重点を置いてクライアントの指導を行う。その後、医療法人・アパレル・総合建設業・複合型企業など、多数の企業において取締役並びに統括責任者を歴任する。2000年に独立開業後は、中小企業の経営戦略・財務戦略・事業再生・M&Aを中心に業務を多数手掛ける。現在は企業価値向上をコンセプトとして多くの中小企業の支援を行っている。